

◆団体基本情報

No.	16	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団		
所在地	〒983-0824 仙台市青葉区錦町1-3-9						
電話番号	022-215-3201		FAX番号	022-215-3575		所管 部局	文化観光局 スポーツ振興課
団体ホームページ	https://www.spf-sendai.jp/						
代表者職氏名	理事長 會田 義克			設立年月日		平成3年3月26日	
基本財産等		100,000 千円		市の出捐額(割合)		100,000 千円 (100.0 %)	
設立 目的	仙台市民が生涯にわたりスポーツ並びにレクリエーションに親しむことができるよう、その普及振興を図り、また、スポーツ施設を広く市民の利用に供することにより、もって、市民の心身の健全な発達と明るく豊かで潤いのある市民生活の実現に寄与することを目的とする。						
事業 概要	(1) 各種スポーツ等の普及振興事業 (2) 各種スポーツ等の情報の収集及び提供事業 (3) 各種スポーツ等に関する調査及び研究事業 (4) 仙台市等から委託された事業、業務等の受託事業 (5) 仙台市のスポーツ施設等の管理運営事業 (公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律別表(第2条関係)第4号、第7号、第9号及び第19号の公益目的事業に該当)						
評価対象決算期		令和7年4月1日～令和8年3月31日					

◆人員等の状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	2 人	1 人
市退職者	2 人	0 人	1 人
②常勤役員平均年齢	62.5 歳	59.5 歳	60.5 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,312 千円	— 千円	5,512 千円
④職員数	154 人	164 人	159 人
うち市派遣	0 人	1 人	0 人
市退職者	1 人	0 人	1 人
⑤職員平均年齢	45.8 歳	46.8 歳	46.6 歳
⑥職員平均年間給与	3,904 千円	3,712 千円	4,043 千円

◆主要財務データ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①当期経常増減額	△ 5,451 千円	△ 3,015 千円	11,457 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 6,704 千円	△ 3,723 千円	11,185 千円
④一般正味財産期末残高	330,258 千円	326,536 千円	337,721 千円
⑤指定正味財産期末残高	101,760 千円	101,280 千円	100,920 千円
⑥正味財産期末残高	432,018 千円	427,816 千円	438,641 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①市からの補助金	211,280 千円	201,357 千円	229,132 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	1,255,347 千円	1,311,619 千円	1,216,277 千円
③市に対する収入依存度	89.05 %	86.69 %	86.73 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
施設管理運営事業	指定管理者として宮城県・仙台市のスポーツ施設の管理運営（10協定17施設）	1,357,830 千円
スポーツ振興事業	令和7年度実績 12施設主催 451事業 参加者数166,089人	79,552 千円
大会運営等事業	令和7年度実績 事業課主催 6事業 参加者数15,898人 スポーツ大会開催・派遣等助成 89件	6,207 千円
情報収集提供事業	河北ウィークリー記事掲載（年16回 約41万部） 事業団HP・SNS、各施設HP・SNS	2,694 千円
マイタウンスポーツ活動推進事業	学区民体育振興会や地域団体が主催するスポーツイベントの開催助成、マイタウンスポーツデー開催	7,130 千円
スポーツコミッション事業	スポーツイベントの誘致及び開催支援、スポーツシンポジウム、セミナー等の開催、「せんだいボランティアステーション」運用	18,659 千円
施設管理受託事業	指定管理者間（民間企業含む）の運営管理、修繕及び利用に係る調整業務並びに広報の実施等	88,975 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	少子高齢化の進展や市民ニーズの多様化に対し、当事業団が長年培ってきた専門的ノウハウと地域との信頼関係を活かし、安定的な事業展開を図った。施設運営や各種事業を通じて、「仙台市スポーツ推進計画」等に掲げる市のスポーツ施策の推進に取り組んだ。また地域連携事業、大規模大会の運営など民間事業者とは代替性のない事業運営を行った。	本市スポーツ施設の管理運営やスポーツ振興事業を通じて、市民のスポーツ活動の推進に大きく貢献している。特に、地域スポーツ団体との連携事業や障害者を対象とした事業など、民間事業者のみでは継続が難しい公益性の高い事業を実施している点は評価できる。また、30年以上にわたり蓄積した専門的知見や競技団体とのネットワーク、仙台国際ハーフマラソンをはじめとした大規模大会の運営ノウハウは他に代替し難い強みである。今後も地域スポーツを支える中核的団体として、本市スポーツ施策の推進に貢献することを期待する。
2. 業務・組織管理	「第3期経営計画（R6～R10）」に基づき計画の基本方針に沿って事業を展開した。また、人材育成計画（令和6年度-令和8年度）、コンプライアンス推進計画（令和6年度-令和8年度）に沿って展開し、組織力強化に努めた。今後も社会情勢の変化に対応し、市民の健康増進に寄与する組織を目指していく。	職員の年齢構成に配慮した、長期的な視点での人材育成と組織管理に努めるとともに、施設利用者はもとより、市民全体から信頼される組織として、資質向上やコンプライアンス推進に向けた取組みを着実に実施していただきたい。 また、社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに的確に対応しながら、市民の健康増進に寄与する組織として、引き続き組織力の向上とサービスの充実を図られたい。

3. 財務状況	市財政の負担軽減と市民サービス向上を両立させるため、自主財源から24,988千円を取り崩して施設維持管理や改修に充てるなど健全かつ積極的な財務運用に努めた。公益目的事業比率は91.41%の高い水準を維持しており、限られた原資を公益性の高い事業へ配分した。	適切な財務管理のもと安定した経営を維持し、健全な財務運営が行われている。また、自主財源を活用した施設修繕や設備更新、公益充実資金の積立など、中長期的な視点に立った資金管理に取り組んでいることは評価できる。今後は、市民のスポーツ実施率向上やこども・障害者スポーツの推進、地域スポーツ活動の活性化など公益的な事業に効果的に活用するとともに、持続可能な経営基盤の確保と市民サービスのさらなる向上に努められたい。
4. 今後の方向性及び課題	今後の最大の課題は、仙台市陸上競技場等各主要施設における「大規模改修工事に伴う休館」への対応と、それに伴う利用者数・参加者数の減少の回復である。工事に伴う休館が無い施設では利用者数・参加者数が前年度比で増加しているが、休館による「利用者離れ」が懸念されるため、休館期間中も代替施設の活用などにより、施設と市民のつながり・市民のスポーツ機会の確保に努める。今後も「仙台市スポーツ推進計画」を踏まえ、施設運営や各種事業を通じて、スポーツの普及振興に取り組んでいく。	少子高齢化や部活動の地域展開など、スポーツを取り巻く環境が変化する中、地域スポーツを支える中核的な役割が期待される。主要施設の大規模改修に伴う休館期間中においても、市民のスポーツ機会を確保するための創意工夫を継続しながら、施設再開後の利用促進に取り組まれたい。 これまで培ってきた専門性やネットワークを活かし、健康づくりなども含めた市民のスポーツ実施率向上・アクティブライフスタイルの推進や、スポーツを活用した交流人口の拡大・スポーツツーリズムの推進なども、今後より一層主体的に取り組み、本市スポーツ推進計画に掲げる「人とまちが元気に輝き続ける-Sports City SENDAI-」の実現に向けた貢献を期待する。